



公明党  
岩城桂子  
いわきけいこ

## 安心安全な防災対策の強化を！ 災害時要援護者の安全確保は

**問** 改訂版地域防災計画が策定され、災害時要援護者の安全確保のため個別計画の進捗状況と今後の推進は。

**答** **自治安心課長** 年一回登録強化を進め、自治会や社協福祉委員の支援者側の理解も図っていききたい。

**問** 要援護者の名簿作成が義務付けられ、本人同意で関係機関へ情報提供できるが、行政区や自主防災会への情報共有はどうか。

**答** **自治安心課長** 要援護者のプライバシーに配慮しつつ共有を図っている。

**問** 要援護者の避難支援のため、平時の見守り体制は。

**答** **福祉課長** 民生委員や福祉委員の見守りや、障がい者には生活支援での見守りを行っている。

**問** 民間非常用井戸の指定箇所の周知はどうか。

**答** **自治安心課長** 町内28箇所で行行政区や近隣に分かるよう看板を設置している。

**問** 個人や事業所が所有する井戸の登録制度の実施は。

**答** **自治安心課長** 地域募集等を研究していきたい。

## 安全な学校環境整備を

**問** 食物アレルギーのある児童生徒の人数と対応は。

**答** **学校給食センター所長** 児童42人、生徒17人の保護者と個人面談を行いアレルギー対応指針に沿って対応している。牛乳の代替はお茶と豆乳である。

**問** 安心安全な学校給食の提供でアレルギー対応食はいつから提供されるのか。

**答** **学校給食センター所長** 今後、検討委員会を設置し、実施に向け慎重に検討する。

**問** 通学路の安全対策について幹線16号線の都市計画道路より東側の道路幅員が狭い通学路の歩道整備は。

**答** **道路交通課長** 歩道整備の計画はないが、安全対策としてグリーンベルトを設置していく。



公明党  
内藤美佐子  
ないとうみさこ

## 町内企業への支援充実を！ みどり共生産業ゾーンへの企業誘致について

**問** 毎年実施される機械要素技術展において、町内企業出展のためのブース確保に費用負担等で支援しては。

**答** **町長** この展示会は企業誘致を進める上で、本町の立地や企業支援をお知らせできる場でもある。支援については、今後担当課と相談して決めていきたい。

**問** 幹線3号線沿線への企業進出で、開発申請から許可が下りるまでの期間は。

**答** **都市計画課長** 当地は市街地調整区域のため、必要な手続きは時間がかかる。

**問** 本町の企業誘致に対する取組みは。

**答** **観光産業課長** 県の産業労働部企業立地課に本町の用地情報を提供している。

## 生活困窮者支援の充実

**問** 相談窓口の設置は。

**答** **福祉課長** 社会福祉協議会が窓口となり、個々の支援プランの作成や、他機関との連携にて支援する。

**問** 税金滞納者が納税相

談に来庁時、生活困窮者であれば窓口の紹介が必要では。

**答** **福祉課長** 今年1月に生活困窮者支援制度の情報を各課に通知した。支援は全庁的に取組んでいく。

## 学力向上への取組み

**問** 今年度実施された全国学力テストの結果は。

**答** **学校教育課長** 本町の小学6年・中学3年とも各教科で全国平均を下回った。

**問** 子供の学力、学習意欲向上への取組みは。

**答** **学校教育課長** 臨時職員・支援員の配置で、きめ細かな指導をしている。教員の指導力向上・家庭学習の定着を図っていく。

**問** 小中学校の放課後や土曜日に無料学習会を実施し、教育支援に取組んでは。

**答** **生涯学習課長** 公民館等にて4件実施されている。今後は研究を行う。





三芳みらい  
**抜井尚男**  
ぬくい ひさお

## 三芳町における地方創生の取組みについて 総合計画との整合性と有効な交付金の活用を

**問** 安倍内閣の主要な施策である「地方創生」をどう捉えているか。

**答** **政策推進室長** 「まち・ひと・しごと」三つの創生があり、人口減少と地域経済の縮小を克服するものと捉えている。三芳町でも人口減少が始まっており、経済活動の縮小による労働力人口の減少や雇用の衰退を防ぐために、国からの財源（交付金）の活用で町の活性化を図ることが重要と考えている。

**問** 地方分権とは違うのか。

**答** **政策推進室長** 地方分権は地方なりに力をつけて施策を高める中で地方が自立していくものであり、地方創生は国の経済的支援を受けつつ地方を元気にしていくもので、違いはあるが両輪で双方を進めていくべきと考えている。

**問** 三芳町に対する影響と効果をどう考えているか。

**答** **政策推進室長** 地方版総合戦略を策定し、国の財政支援を受けながら魅力的な施策を考え、人口流入や地域経済活性化を促進する。このことは町の第5次総合計画と多くの部分で重

なり、町の予算に対して多大な好効果をもたらすと考える。

**問** 三芳町では総合戦略をいつ頃策定するのか。

**答** **政策推進室長** 総合計画と同時に進行しているが年内には策定する予定だ。

**問** 交付金に対する考えは。

**答** **政策推進室長** 総合計画にもある子育て支援や雇用の拡大、観光促進の事業等を連動した形で策定し、交付金の申請をする。

**問** 三芳町に即した地方創生の取組みと総合計画の策定が重要と考えるが如何か。

**答** **政策推進室長** 人が集まり働きやすい魅力ある町へ環境整備を充実させるためにも、財政基盤の強化が重要であると考えている。



三芳みらい  
**安澤 豊**  
あん ざわ ゆたか

## 子育て支援の充実を！ 自助・共助・公助の町へ

**問** 町立第三保育所運営にあたり、待機児童の予想人数と待機児童解消の対策は。

**答** **こども支援課長** 平成27年4月は6名の待機児童数であったが、5月から現在までは5名である。平成28年の第三保育所運営により20名の増員を予定。さらに町内3ヶ所の家庭保育室を地域型の小規模保育事業（0歳～2歳）に移行し、平成28年4月で、待機児童解消の予定である。

**問** 第三保育所及び第二保育所の指定管理については。

**答** **政策推進室長** 行政改革の視点から、民間にできることは民間にと言う考えのもと、公共サービスの充実や効率化等の為、民間活力の導入を推進しているところだが、保育所についても保育人数の多様化、高度化や人材確保の観点から、民間活力の導入を検討している。定員管理やコスト、導入手法等、町の公共施設全体に対し内部で検討中である。

### 共助の町づくり

**問** 行政区、自治会への参加が減っている状況をどう

ように考えているのか。

**答** **自治安心課長** 町は各行政区の区長や自治会長と共に、近隣社会、地域共助や助け合いの仕組み作りの為、ポスターの製作やのぼり旗等、加入促進を進めている。行政区の魅力や安心感など、役場や公民館等でアピールしている。

### 日本赤十字社について

**問** 埼玉県より委託のもと、日本赤十字社三芳支部が運営されているが、活動の拠点が明確になっていないようだが。

**答** **福祉課長** 日赤奉仕団に関しては、今後社協の管理する社協の家で行うことになった。



町立第三保育所





日本共産党  
本名 洋  
ほん な ひろし

## 非核平和都市宣言の自治体として 戦後70年・平和のバトンを次世代へ

**問** 「戦後70年平和事業」が行われたが、平和事業を今年だけではなく、今後も続けていくべきでは。

**答** **総務課長** 10年ごとか、毎年か、検討したい。

**問** 三芳町の戦争体験者のお話を聞き取り、記録に残しては。

**答** **総務課長** 必要である。研究していきたい。

**問** 平和のバトンを次世代に引き継いでいくには、学校教育の役割が大切である。小・中学校で戦争体験者のお話を聴く機会を設けては。

**答** **学校教育課長** 緑豊かな郷土と平和な町を引き継いでいくことは有意義。調査・研究していきたい。

**問** 平和について、首長としてなすべき役割は。

**答** **町長** 平和のバトンを次世代へということは同感である。しっかりとやっていきたい。

**問** 経済効果が不透明。この事業で、どのような企業を誘致できるのか。

**答** **総合調整幹** 物流倉庫系、食品流通系の企業を期待している。

**問** この事業による車種拡大に伴い、町としてのデメリットは。

**答** **総合調整幹** 住民の不安材料として道路交通への影響があると認識している。

**福祉バス利用券は復活すべき**

**問** 来年度は廃止とのことだが、福祉バス利用券の今後の予定は。

**答** **政策推進室長** 当面拡充は考えられない。

**問** 高齢者の移動の権利を保障していくためには、バス利用券を復活すべきでは。

**答** **政策推進室長** ライフバス2路線の補助に加え、デマンド交通を開始した。



日本共産党  
吉村美津子  
よしむら み つ こ

## 学校給食費への補助金制度を実現すべきでは 若者を戦場に送る安全保障関連法案は問題だ

**問** 学校給食費への補助金制度の実施に向けて何回か質問してきた。一人当たり1000円の補助の実現をすべきでは。

**答** **学校教育課長** 第3子以降に2000円補助する。

**問** 第2子も対象にした施策にすべきでは。

**答** **学校教育課長** 財政支出が大きくなるので難しい。

**憲法違反の安全保障関連法案は問題**

**問** 「非戦闘地域」から「戦闘地域」へと拡大、また、武器使用権限も拡大されている安全保障関連法案への国民の反対、廃案の声は大きい。もし国会で法案が通ってしまったときには、町は憲法違反の自衛官募集パンフレットを役場内に置くのは、やめるべきでは。

**答** **総務課長** 法定受託事務なので難しい。

**問** 日本には、世界に誇れる憲法第9条がある。現在、審議されている戦争法案は、廃案にすべきと思うが町長の見解は。

**答** **町長** 衆議院で可決され、参議院で審議中なので、その経緯を見ていきたい。

**道徳教育の押し付けはやめよ**

**問** 政府は道徳を「特別の教科」として、愛国心など画一的な価値観を上から押し付けるものとなっている。愛国心は上から押し付けるものではないのでは。

**答** **学校教育課長** 上から押し付ける道徳ではなく、子どもたちの意見を聞くことを大切にしたい。

**国保税値上げ止めよ**

**問** 消費税増税で町民の生活は大変。近隣市は一般会計からの繰入金増額で対応しているが当町では。

**答** **住民課長** 値上げ問題は国保協議会に委ねている。





新芳会  
鈴木 淳  
すずき じゆん

## 三芳スマートICフル化について町の考えは 未来につながる土地利用を

**問** 三芳スマートICフル化が決定したが、「みどり共生産業ゾーン」は用途地域の変更をすべきでは。

**答** 都市計画課長 現在の計画では流通倉庫系に限って企業誘致を行っている。用途地域の変更は地区計画の策定や、区画整理の話が出てきたからとなる。

**問** 北永井地区だけでなく、上富地区への企業誘致は。

**答** 政策推進室長 現状では難しいと思う。

**問** 地権者との用地交渉は行っているのか。

**答** 総合調整幹 現地の測量が未完了。対象者がはっきりしてからになるので、まだ開始していない。

**問** 世界農業遺産への再チャレンジも始まったが、2つの政策のバランスをどう取っていく、住民に説明するのが。

**答** 町長 開発と保全、一見相反する施策だが、多くの方の話を聞いてバランス良く統合し良い町を作っていきたい。やや保全にウエイトを置いた方がバランスは取れると思う。

**問** 第4次総合振興計画に「住宅ゾーン」「工業ゾーン」とされているのに未整備の土地は、第5次総合計画では

どうなるのか。  
**答** 政策推進室長 縮小する方向で考えている。

### 職員給与について

**問** 職員給与の削減率は

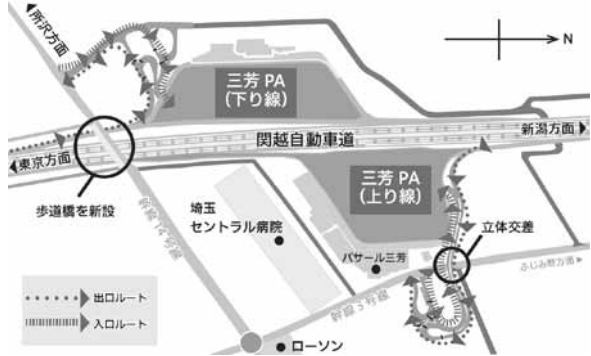
**答** 総務課長 平均2.1%の引き下げを行っている。

**問** 職員・特別職の給与を承認するのが議会であるならば、議員自らも報酬の削減をしても良いと思うが。

**答** 総務課長 町長からの諮問があったら、特別職報酬審議会を開催して決めることになる。

### その他の質問

①公園の口除けや遊具の充実  
②空き家対策について



三芳みらい  
井田 和宏  
い だ かず ひろ

## 人や企業から選ばれる町を目指して！ 三芳町の特長を生かした政策立案を

シティプロモーションとは、「町や地域の売り込み」であり、町の認知度向上、情報交流人口の拡大、既存住民の愛着形成、交流人口の増加、定住人口の獲得、協働人口の拡大、企業誘致などにつなげていくことが目的である。町や地域を売り込むためには、誰に、何を、どういった方法で売り込んでいくのか、絞り込みと戦略が必要だと考える。

**問** 町に来てほしい企業は。

**答** 政策推進室長 三芳スマートICフル化によって物流面の迅速性を求める企業が多くなると考えている。

**問** 企業誘致をしていく上での環境整備は。

**答** 政策推進室長 需要を調査する中でどういった整備が必要か考えていきたい。

**問** 定住人口の獲得策は。

**答** 政策推進室長 都市住民との交流を深めつつ定住人口獲得を図っていききたい。

**問** シティプロモーションを行うための現状分析は。

**答** 政策推進室長 地方版総合戦略や第5次総合計

画を策定する中で行っている。

**問** 誰に、何を売り込むといった絞り込みは。

**答** 政策推進室長 生産年齢人口が減少していくことから働き盛りの若者や子育て世代にターゲットを絞ることが必要だと考えている。

**問** シティプロモーションを行うための人材育成は。

**答** 政策推進室長 各種団体等が行う研修に参加し町全体でプロモーションできる人材を育成していきたい。

**問** シティプロモーションの今後の戦略は。

**答** 政策推進室長 魅力ある政策立案と情報発信が戦略の基本だと考えている。

**問** シティプロモーション基本方針を策定しては。

**答** 政策推進室長 統一の方針は重要であり、今後検討していきたい。



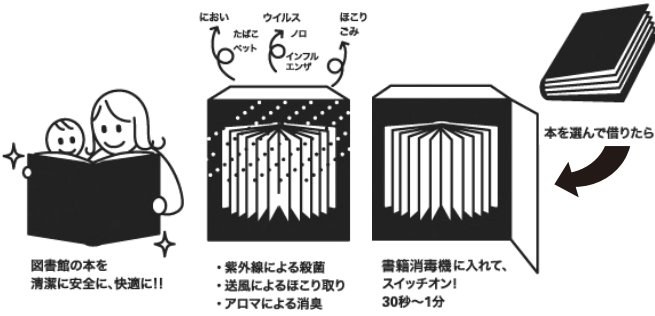




公明党  
小松 伸介  
こまつ しんすけ

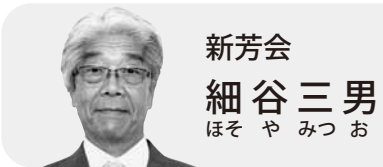
## 住民福祉向上のための施策について 町民が満足して利用出来る体育施設を！

- 問** 体育施設利用団体数は。  
**答** 生涯学習課長 平成27年8月末現在、町内342団体、町外104団体。
- 問** 管理規則に「町内利用者」の規定があり、「町内団体」と誤解されるのでは。  
**答** 生涯学習課長 条例・規則等の文言を見直し、誤解のないようにしていく。
- 問** 名義貸しを心配する声もあるが、確認しているか。  
**答** 生涯学習課長 書面の内容をもって把握している。実質上の調査はしていない。
- 問** 指導者の資格の有無の確認を行っているか。  
**答** 生涯学習課長 重要と思うが現在は確認していない。
- 問** 予約の抽選方法は。  
**答** 生涯学習課長 パソコンでの抽選。公平性は保たれていると認識している。
- 問** 町民が優先的に利用出来る体制が出来ているか。  
**答** 生涯学習課長 予約の段階で差別化しているが、2市1町で協定書を結んでいるので、町民が利用しやすいくなるよう検討していく。
- 問** 多目的広場へバスケのゴール、ドッグラン設置は。  
**答** 町長 「自然の森・総合スポーツ公園構想」の中で検討する。
- 問** ハンドボール部創設は。



本を消毒し、キレイにするブックシャワー

- 答** 学校教育課長 創設の声が高まれば検討する。
- 問** 図書館について  
**答** 読書通帳を導入しては。  
**問** 図書館長 調査研究は進めるが現状の事業を充実させる事に力を尽くしたい。
- 問** 利用者の衛生面に配慮するブックシャワー導入は。  
**答** 図書館長 良い機械と思うが、配置場所等の課題もある。今後研究していく。
- 問** 空き家バンクを創設して町の活性化につなげては。  
**答** 政策推進室長 町内の実態を調査の上、検討する。



新芳会  
細谷 三男  
ほそ やみつ お

## 交付金算定方法見直しを国・県へ要望すべき プレミアム商品券発行事業の確実な検証を

- 問** プレミアム商品券の申込み数と当選者数は。  
**答** 政策推進室長 申込み数が6716人、当選者が2143人であった。
- 問** 最高3万円を限度とした根拠は。  
**答** 政策推進室長 これまでの商品券発行事業を参考に、当初10万円を限度と考えたが、多くの方に行き渡るよう商工会との協議の中で3万円と決定した。
- 問** 抽選方法はどのようなにされたのか。  
**答** 政策推進室長 商工会職員立ち合いの下、表計算ソフトを使用し、商工会フロアで厳正に抽選をした。
- 問** 住民の関心が高い事業であっただけに、抽選場所等にも少し配慮があれば良かったのでは。  
**答** 政策推進室長 抽選場所等を決定する時点では、ハズレが多く出ることや予想できなかったこと、公開について考えなかったことは事実であった。
- 問** 他市町村に比較して三芳町の交付金は少ないように思うが、国や県に対して交付金算定方法等の見直しを要望すべきでは。  
**答** 政策推進室長 国、県



- 問** 学童保育室の指導員資格が変わると聞いているが。  
**答** こども支援課長 放課後児童支援員に変わる。
- 問** 臨時職員の賃金改定は考えられないか。  
**答** 総務課長 賃金の改定は、最低賃金の状況、近隣市の状況等考慮し決定している。保育士は募集しても集まらない状況であり、今後賃金改定を検討したい。
- その他の質問**  
民間保育園について



三芳みらい  
山口正史  
やまぐちまさふみ

## 庁舎のネットセキュリティに関して マイナンバーの導入にあたって

**問** マイナンバーの個人情報報は、どの範囲のデータ及びネットワークで利用されるか。

**答 財務課長** 住民基本台帳、地方税務、国民健康保険、介護保険、障がい者福祉、児童福祉システム他で利用され、基幹系ネットワークから利用できる。

**問** 町のネットワークは基幹系、情報系の業務系ネットワークとインターネットに接続されたネットワークがあるが、マイナンバー導入にあたってセキュリティ対策はどの様に考えているか。

**答 財務課長** インターネットへの情報漏洩を防ぐため、業務で使用する業務系のネットワークはインターネットから分離する。従ってインターネットは特定のパソコンから利用することになる。

**問** 業務系ネットワークを利用した職員は特定できるか。

**答 財務課長** 業務系ネットワークに接続した職員の履歴は全て保存される。

**問** セキュリティ対策は、システムを堅固にしても人為的ミスがあれば情報漏洩は防げない。小中学校の教

師や保育士などを含む全職員に対し、マイナンバーの取扱い、セキュリティの研修が必要では。

**答 財務課長** マイナンバーを取扱う職員の研修は実施したが、今後は全職員への研修を検討する。

### 第5次行政改革大綱の実施に関して

**問** 第5次行政改革大綱のアクションプランは作成したか。

**答 政策推進室長** 現在作成中であり、行政改革推進本部にも諮っていないため、今後公表する。



新芳会  
細田三恵  
ほそだみつえ

## 健康長寿の高齢者施策について 生涯現役人生を応援する「65歳成人式」

**問** 町全体の65歳以上の方の老人クラブの加入率は。

**答 福祉課長** 上富188人、北永井147人、藤久保388人、みよし台64人。合計787人。

**問** 各地区の老人クラブ活動内容は（講座など）。

**答 福祉課長** 年一回のお楽しみ会。各地区での特色ある活動は、納涼祭、歴史散歩等。老人クラブ連合会の年間行事としては、町民文化祭、福祉まつり、研修旅行、ブランドゴルフ等。

**問** シルバー人材センターの会員数と仕事内容は。

**答 福祉課長** 平成27年8月現在309人。主に清掃、除草が多い。畳の張替え、植木の手入れ等と言ったような本人が得意とする仕事と合うように考えている。今後は、職場で直接指示をする仕事と派遣事業にも力を入れる。

**問** 食育セミナー、健康セミナーの内容は。

**答 健康増進課長** 来年1月に2回開催予定、野菜摂取が増えるようにみよし野菜のレシピを紹介。又、10月、2月にかけて、月2回ウォーキングの講義と実技。スタジオプログラムでは、健康体操、ヨガを行う

予定。

**問** 年を重ねる度に、幸福になっていく、そんな生涯現役人生を推進するため65歳成人式を始めてはどうか。

**答 町長** 労をねぎらい、これからの門出を祝い、地域に貢献したいという方がたのきっかけになればと思う。今後検討する。

### いじめ問題について

**問** 前回の「条例」の提案について総合教育会議での検討内容は。

**答 町長** 他の自治体で条例化している所もある。今後教育委員さんとも思案する。

### その他の質問

道徳教育について







日本共産党  
増田 磨美  
ます だます み

## 子育て支援は、町の重要施策 みらい通りの歩道整備は、早々に！

**問** 改築された町立第三保育所は、8月に移転先から引越しを済ませ、子供達も保護者も元気に新保育所に通っている。問題は、来年4月からの定員増に伴う保育士の増員について。6月の質問では、正規職員2名他を希望しているとのことだったが、その準備は。

**答** **子ども支援課長** 定員適正化計画で、正規職員を増やす事は難しい。役場内の人事異動と臨時職員での対応を考えている。

**問** 第5次定員適正化計画を見ると、4年後の平成31年に、7人ものベテラン保育士が定年退職する。しかし町が予定しているのは、平成29年に1名の増員だけ。これでは、人材育成や、引き継ぎもままならず、今まで培われ引き継がれてきた三芳町の保育が守れない。町長の所信表明、施政方針、第5次総合計画、地方版総合戦略の中で、子育て支援は、重要な柱の一つとして挙げられている。これに対し、縮小や後退は、矛盾する事になるのではないか。

**答** **町長** 子育て支援は、重要。第5次定員適正化計画見直しの中で今後のこと

は検討中。結論は出ていない。安心安全で保育の充実した町を考えていきたい。

**藤久保地内の新公園に緑陰や日影を作る工夫を**

**問** 3つの新公園には、日影が無く休みたくても休めない。藤棚等に工夫しては。

**答** **都市計画課長** 藤棚の整備を図り研究していく。

**問** みらい通りの歩道路面表示は劣化で見えず危険。安全のため整備は最優先では。

**答** **道路交通課長** 絵文字表示等で通行者の安心安全を図る。



みらい通りのはがれた路面表示



久保 健二  
く ほ けん じ

## 安心安全の推進！バランスの取れた町づくり 不安・不満のない生活環境の提供を！

**空き家対策について**

**問** 空き家対策措置法が施工されたが当町の対応は。

**答** **都市計画課長** 空き家対策マニュアルを作成して対応。今後は県の空き家対策連絡会議の研究動向に注意し、関係各課で具体的な方策を考えていきたい。

**問** ごみの不法投棄等、苦情に対する対処方法は。

**答** **環境課長** 事案、通報をもらった時点で現場の状況確認。所有者に対し適正な管理を促す文書等を発送。

**問** 処理に対する費用は。

**答** **環境課長** 所有者及び管理をしている方の支出となる。公的支出となる公費は発生していない。

**問** 苦情、通報をくれた方への連絡・説明・対応は。

**三芳スマートICフル化について**

**問** 町内の整備予定箇所は。

**答** **総合調整幹** 幹線14号線及び幹線3号線の歩道整備等の改良、多福寺前、三芳中学校前、埼玉センター前、病院前、共販センター前の4交差点の改良を計画。

**問** 4か所の交差点の整備前と整備後の道路幅員は。

**答** **総合調整幹** 詳細な設計の中で協議し、最終的には埼玉県警との協議で決定。

**問** 利便性の向上、企業誘致、安心安全の確保には何が重要と考えるか。

**答** **町長** 緑地保全など、環境整備等のバランスの見極めが重要だと考えている。



現状のスマートIC